

令和3年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	29	学校名	富士宮西高校	記載者	副校長 松本一真
------	----	-----	--------	-----	----------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	心身の調和がとれた生徒が育つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻・欠席・早退の各総数が前年度より減少する。</li> <li>・「服装・頭髪・時間厳守など学校生活の規律・秩序は保たれている」と答える生徒90%以上。</li> <li>・「学校生活のルールや日常生活のマナー等の指導が適切に行われている。」と答える保護者90%以上。</li> <li>・投票に行った生徒55%以上。</li> <li>・情報モラルに関する生徒指導が前年度より減少する。</li> <li>・「校内の環境美化・衛生管理や健康に関する指導に取り組んでいる」と答える保護者80%以上。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長引くコロナ禍の影響で、生徒にとっても先生にとってもストレスフルな状況が続きます。ハンドリングの難しい時期ですが、人間を豊かにし、社会性を育てる学び舎としての役割がより一層重要になってきていると感じます。特にルールやマナー等の指導は、社会生活のベースとなる部分ですので、より高い評価へと到達できることを期待しています。</li> <li>・スクールカウンセラーによる相談を更に充実し、生徒の悩み解決に役立ててほしい。</li> <li>・12の成果目標のうち8つの成果目標で目標達成ができた。欠席者の増加は、新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響していると考えられるので今年度の目標達成は困難だと考えられる。</li> <li>・「かぜ」の場合でも「コロナ拡大防止対応」による「出席停止」扱いになるため、家庭訪問なども困難になり、コロナ前に比べて、生徒の精神面に關わる実態が把握しづらくなっています。そのような中で、担任の先生や保健の先生、部活動の先生が、生徒の異常に早く気づいたり、心配な生徒に対して丁寧に関わってくれたりしているのだと思います。・来年度から始まるタブレット授業に関して、今まで以上に「モラル指導」を厚くすることが要求されます。早い時期の「出前講座」の実施が必要かもしれません。</li> <li>・生徒や保護者の評価は良いと思います。日頃から落ち着いて、のびのび学校生活を送っている生徒が多いと感じております。</li> <li>・基本的な生活行動について未達成項目がある。学校から指導されているが、家庭での問題も潜んでいる可能性があると思われるので、学校、家庭で情報共有し、家庭からも指導されるよう啓発してい</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談を年に3回以上実施。</li> <li>・「子どもは、明るく楽しく学校生活を送っている」と答える保護者90%以上。</li> <li>・いじめ対策委員会を年に2回以上開催する。</li> <li>・特別支援委員会を年に2回以上開催する。</li> <li>・「学校は、子どもに関する悩みの相談に応じてくれる」と答える保護者80%以上。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校からの連絡・情報は家庭に伝わっ</li> </ul>	A		

		ている」と答える保護者80%以上。			<p>く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の定着を図ってほしい。投票に行った生徒が8割以上の結果は、主権者としての意識の高さを感じる。</li> <li>・卒業生の約二割が皆勤賞とはまじめな生徒が多い証拠です。</li> </ul>
イ	一人ひとりの学力が向上する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業に対し、おおむね充実して取り組んでいる」と答える生徒90%以上。</li> <li>・「話し合い等、主体的、能動的に活動する場を設けている授業である」と答える生徒90%以上。</li> <li>・年間3回以上の授業参観を行う教員が90%以上。</li> <li>・「学習しやすい環境にある」と答える生徒85%以上。</li> <li>ICTを活用する教員70%以上。</li> </ul>	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の方法に制約のかかる中、授業に対しての評価は高いと感じます。</li> <li>・授業参観等の校内研修を充実し、先生方の授業力向上を目指していただきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響も考えられるが、設定した9つの成果目標のうち5つの成果目標を達成できなかった。</li> <li>・「学習しやすい環境にある」と答える生徒85%以上。「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒90%以上。は、「全生徒のノート、サブノートに目を通し指導してくれている」ことの成果だと思います。大変かとは思いますが、「学習ノートを通した（ツールにした）生徒との会話」を大切にして、今後も継続をよろしく願います。</li> <li>・「読書の習慣」は、「脳を最高の状態にする習慣」の一つでもあります。他にも「朝型の生活習慣」や「食事を抜かない」、「脳に良い食べ物を摂る」など、「脳を整える生活習慣」の視点で、生活指導や学習指導に取り組んでみてもおもしろいと思います。</li> <li>・学力においては各生徒が自身の目標を掲げて、成長に向けた取り組みをされていると思います。特に今後は、各科目内の得意・不得意ポイントなどテストデータの分析により、個々にポイントを絞って取り組む事が可能となり、学力向上に効果を発揮できる時代になるのではないのでしょうか？そうした取組みをいち早くそして高度に進めて行ってください。</li> <li>・授業に対して、新しい授業スタイルも行われているが、個々の生徒の将来のためであることの意識を向上させて意欲を持たせる。</li> </ul> <p>先生方の授業改善が生徒の学力向上につながることを意識して、取り組んでほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒90%以上。</li> <li>・「補講、勉強会、個別進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立っていると答える保護者80%以上。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力に関する検討会を学期に1回以上実施。</li> <li>・家庭での生活実態調査を年3回以上実施する。</li> </ul>	A		

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒間の学力差が大きいと感じました。個々に対応できるように工夫していく必要があると思います。学力が向上していく生徒は、自分で学習することができる生徒だと思います。成績に不安のある生徒や苦手科目をフォローする補講を増やし、バックアップすることで、全体の学力が向上し、授業内容をより充実させることができるのではと思いました。</li> </ul>
ウ	一人ひとりの進路目標が実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生の生徒全員が年に1回以上学習成果を発表する。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路目標の実現以前に、進路目標が定まっていない時期の生徒たちも多い中で、この設問についての回答は学校評価というより自己評価ではないでしょうか。</li> <li>・進路指導のミスマッチが減少するように、原因を分析していただきたい。</li> <li>・進路指導方針「本当にやりたいことを見極める力、一流を目指す力、受検を他人との競争とせず、自己実現の機会と捉える」ことを継続していただきたいと思います。北海道エリアへの大学進学5名や千葉工業大学へ11名合格、富士市立看護専門学校へ6名進学などは、この成果だと思います。進学指導に傾倒することなく、「キャリア教育」としての進路指導や体験活動を進めてくださるとありがたいです。</li> <li>・教科の学習のみでなく、人間力の向上等が、学力の成果にも繋がると言う事かと思えます。</li> </ul> <p>更なる活動を期待しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の段階での進路目標は、明確ではない生徒もいるとおもわれるため、地域連携活動そして企業、自治体等に於いての職場体験、職場見学、また企業から講演会などを実施していただき、将来の進路選択に役立つよう、進路指導に繋げて欲しい。</li> <li>・地域連携をさらに進め、視野の広い、創造性豊かな生徒を育てほしい。</li> <li>・取組目標の「一人ひとりの進路目標が実現する」は、学習成果の発表（ドリームプラン）や読書（ビブリオバトル）やボランティアで達成できるのでしょうか？</li> </ul> <p>「進路目標の実現」というと、第一志望の大学合格、希望する企業への就職内定が一番に思い浮かびます。学習成果の発</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均年間読書冊数9冊以上。</li> <li>・生徒全員がビブリオバトルに参加する。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・20%以上の生徒が年1回以上社会貢献活動・ボランティア活動に携わる。</li> <li>・企業・自治体・NPO等、地域との連携3件以上、地域人材等との連携5人以上。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検2級合格者35人以上。</li> <li>「適性・進路などに応じて選べる類型や選択科目がある」と答える生徒90%以上。</li> <li>・「進路指導は、進路選択に役立つものになっている」と答える生徒85%以上。</li> <li>・「進路行事や担任による個別面談等、進路指導は適切かつ効果的に行われている」と答える保護者80%以上。</li> </ul>	B		

様式第5号

					表、ビブリオバトル、ボランティアという成果目標が進路の実現という取り組み目標の重要な部分を担っていると考えられませんでした。
エ	活気に溢れ、魅力ある学校になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校行事に満足している」と答える生徒85%以上。</li> <li>・「子どもは、学校行事に意欲的に参加している」と答える保護者90%以上。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これだけ身動きの取りにくい状況下でも、高い評価を獲得しているのは先生がたの寄り添った指導の賜物だと思います。</li> <li>・部活動指導が超過勤務とならないよう、更に外部人材の活用を進めたら如何ですか。</li> <li>・コロナによる制限が続く中、行事や部活動に関して、先生方が知恵をしぼり、やり方を工夫しながら実施の方向で進めてくださったことに感謝します。</li> <li>・これまでの実績を振り返ると、着実に発展していると思います。また、特色ある部活動もあり学校生活の充実化がはかれていると感じます。</li> <li>・未達成項目はありますが、コロナ禍の中、代替案での修学旅行、学校行事、部活動についても、先生、関係者の努力もあり行われて良かったです。</li> <li>・保護者の評価以上に生徒が満足できる取り組みを期待する。</li> <li>・コロナ禍で様々な制限がある中、充実した生活が送れていると思います。部活動については、ガイドラインを明確にして保護者に伝える必要があると思います。</li> <li>・活動に制限のある中部活動の成績は素晴らしかった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動への参加により、学校生活を充実させることができている。」と答える生徒80%以上。</li> </ul>	A		
オ	安心・安全な学校になる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「富士宮西高だより」の発行・配布を3回。</li> <li>・中学校での説明会10校以上</li> <li>・一日体験参加者500人以上。</li> </ul>	B	A	<p>【意見】学校評議員として垣間見る富士宮西高あるいはその評判は、とても良い印象および内容です。しかし良い噂というものはなかなか広まりません。手ごたえは感じにくいかもしれませんが、子供の絶対数が激減している中で、一日体験参加者の数は確実にその評価が高くなっていることを物語っていると思います。これからもますますPR活動に注力していただけると、OBとしても嬉しい限りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域になくってはならない学校であるという認識で広報に努めていただきたい。</li> <li>・中学校では、自転車通学許可申請時に「自転車保険加入書の添付」を強いたり、「市役所東側・黒田県道等、歩道に自転車通行許可の標識のある歩道につ</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災訓練参加率65%以上。</li> <li>・校内防災訓練2回。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回以上安全教育に関する授業を「安全教育計画」に示された教科で行う。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の不祥事件数ゼロ。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育環境の面から見て、施設・設備は整</li> </ul>	A		

様式第5号

		<p>備されている」と答える保護者80%以上。</p>		<p>いては、歩道の上を一列で通行する。自転車通行帯のない横断歩道では自転車を降り、引いて渡る。」など、事故が起きやすい、苦情が多い箇所については、許可後も臨時集会を開いたり指導を厚くしています。また、違反した場合は、通学マナーを見直すために、途中で停止、取り消しなどの処分を下すことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世間一般の安心・安全活動に沿って、活動していると思います。</li> <li>・2年生を対象とした中学説明会一日体験、公開授業以外に学校見学の機会を増やした方がよい。先生の業務負担を軽減をするには、個々の高校で検討するのではなく、県全高校の問題と捉えて業務数を減らす。</li> <li>・生徒や保護者の安心、安全は学校運営の要である。引き続き、先生方の多忙化解消と併せて、取り組みを進めてほしい。</li> <li>・「予告なし防災訓練」を行っている学校があるそうです。効果的だと思うので取り入れてみてはいかがでしょうか。一日体験参加者の方から、昇降口を入ると暗く、学校に暗いイメージを持ったと意見をいただいたことがあります。更衣室は空き教室に移動し、昇降口に入ってすぐに中庭が見えるようになったら素敵だと思います。</li> </ul>
		<p>・監査及び会計・物品事務指導検査における指摘件数ゼロ。</p>	<p>A</p>	
		<p>・分掌の業務を見直し、業務の平準化を行う。</p>	<p>B</p>	